

氏名	柚 木 昌
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	乙 第 1328 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和57年12月31日
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学 位 論 文 題 目	Gamma-Aminobutyric Acid (GABA)及びその代謝産物の 下垂体前葉ホルモン分泌調節における役割に関する研究 第1編 GABA 及び Gamma-Hydroxybutyric Acid (GHB) のラット視床下部ホルモン及び下垂体前葉ホルモン分 泌に及ぼす影響 第2編 Gamma-Hydroxybutyric Acid (GHB)のヒト下垂 体前葉ホルモン分泌に及ぼす影響
論 文 審 査 委 員	教授 長島秀夫 教授 木村郁郎 教授 森 昭胤

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

脳内の種々のアミン，アミノ酸，ポリペプチドが下垂体ホルモン分泌を司どる視床下部ホルモン放出に影響を及ぼすことが推定されている。

そこで gamma-aminobutyric acid (GABA) 及びその代謝産物のラット及びヒト下垂体前葉ホルモン分泌に及ぼす影響について検討した。

第1編：ラットに GABA 及び gamma-hydroxybutyric acid (GHB) を投与すると視床下部 somatostatin 含量は増加し，同時に血中 GH 値の上昇が認められた。この GHB による視床下部 somatostatin 含量と血中 GH 値の上昇は *l*-Dopa の前処置により抑制された。以上の成績からラットにおいては GABA 及び GHB による血中 GH 値の上昇は少くとも一部は視床下部よりの somatostatin 放出により出現し，その機序として Dopamine 機構の抑制が示唆された。

第2編：ヒトにおいては GHB は血中 GH，プロラクチン，コルチゾールの三者を同時に増加させるため各種内分泌疾患にて検討したところ下垂体前葉ホルモンの分泌予備能検査として有用であると考えられた。次に GHB の作用機序を検討したところ，ヒトでは，GHB の下垂体前葉ホルモン分泌作用が，Dopamine 機構の抑制によってのみ出現するとは考えにくかった。

論文審査の結果の要旨

本研究は Gamma-Aminobutyric Acid 及びその関連物質の視床下部ホルモン及び下垂体ホルモン分泌に及ぼす役割, Gamma-Hydroxybutyric Acid のヒト下垂体前葉ホルモンに及ぼす影響について実験的ならびに臨床的な検討を加え, Dopamine 機構の抑制等について重要な知見を得た価値ある業績であると認める。

よって, 本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。